

刊夕 日六十月二十



支那軍語  
怒ることを生氣と稱し、テシオンチー、泣くは哭でク、面白がるは喜、高興でタオシン、悪むを悪俗と稱してウ、ス、考へるは想でシ、アン、記憶するは記で、チー、忘るは忘でワレ

### 平地方の年末金融

#### 過ぐる程の圓滑さ

##### 軍景偏在に農家のツク

##### 考へさせられる物と金

平地方に於ける年末金融は軍需景気による偏在的傾向はあつたが、農家の四圍する都市として農家経済が豊かになつて一般にも不調でなく、商事銀行等の金の動きから見る状況では、鐵道貨物の激増がガソリンの統制でトラックの動かない影響はあるにしても、總体から見て減じて居るどころか相當を増加を語られるものに等しく、其れと諸物價高の關係から前年に比して約倍に近い活況を見せて居る。殊に農工銀行の好調を示すものは、農工銀行支店の如き會でなく、拂込の佳良なことも、預金の増加に期間中期の償還も一、二に止

### 漸く目鼻がつく

#### 工業學校の建設

#### だが資金は所要費にまだ

#### 寄附募集に尙一段の努力

昨十五日の平市會は既報の案件を附議決定したが、目下同市に計畫されて居る工業學校の建設は、尙其の實現に邁進の管で、大抵三十萬圓の寄附を得て、市が十萬圓を最高限度とする公債を仰ぐとしても、豫定の所用額には未だ遙かに遠く、更に特志家の寄附を請ふべく、市會終了後左記の委員會を

### 縣廳と市町村の間に

#### 中間機關愈々實現か

##### 所要費は二百五十萬圓

##### 一道三府四十三縣に二百ヶ所

縣廳と市町村との間に中間機關を設置したい地方長官を擧げての意見から、内務省當局も其の必要を認めながら、尙ほ一部には二重監督を非とする反對論があるため、實現の期に及らなかつたが、事變以來地方行政事務は一段と複雑を極め、加ふるに明年度から地方税制改正に伴ふ市町村稅務も多忙となるので、現在の機構では市町村行政事務の効果遂行を期し得らざるやうな状態を呈し、同機關設置につき研究中であつた。内務省は大抵二百五十萬圓程度を要するものと見る同設置費を明年度豫算に追加計上したい意向の如く、而してこの設

### 夏井村の大火

#### 縣の見舞金

縣では石城郡夏井村の大火に

野崎滿藏 鈴木庫左 藤田榮助 川崎文治 萩原義雄(以上)

對し罹災者へ食糧、被服、器具、學用品等六百十九圓餘を給與したほか、罹災軍人家族の罹災一戸に災害補助三十圓、また軍人援護會本縣支部から見舞金八十圓を贈つた

### 壽炭鑛の火藥犯人

#### 五ヶ月目で擱まる

##### 湯本町に於て芝居見物中

##### 栃木生れの前科五犯男

平署では本年八月廿五日夜、管内壽炭鑛(内郷村)の火藥庫を破り、火藥を窃取した犯人につき、壽炭鑛支部の應援をうけ約一ヶ月餘、嚴重探査に盡したが、逮捕するに至らず、警戒の眼を見張つてゐたところ、最近石城地方の炭鑛を東京市本郷區金助町一六芝浦製煉所技師工學士吉田時夫(電話本郷一三四)なる名刺をもつて視察と稱し、經めぐつてゐる男が前記壽炭鑛犯人と云はれるものに酷似してゐるので、警署員を擧げる非常警戒中の去十二月夜、湯本町湯本座に芝居見物してゐるところを根本、井上兩巡査が取り押へ所持品を調べ、雷管裝填のダイナマイトがあるのを追及の結果、右犯人であることを自白した。同人は栃木縣那須郡那須村の湯本生れ殺人、強盜、發物取締違反前科五犯、並井三郎(三)が本名で壽炭鑛の火藥類は石城郡湯本町關船地内愛宕神社裏に隠してゐるを語り、更に八月常盤線上市車内で旅客から數百圓を窃取し十一月には赤井驛前ますや商店に焼切で忍び現金を中の金庫及び商品、次で十二月には茨城縣那須郡那須町秋山炭鑛物品販賣所から現金百餘圓を盗み、本縣濱通りでは植田町を中心とする他東京北

### 武勳を讃へる

#### 磐中の慰靈堂

#### 校出身廿一勇士

磐城中學校では今次事變に於て戦死病歿せる校出身將兵左記廿一勇士の武勳を讃ふるため、英姿を同一型の寫眞に引伸し同校會議室にこれを掲げ、南東攻略記念日の去十月十四日敢闘の遺品を借りて陳列展示に展覽させ時局感を深ふせしむるものあつたが、他日適當な機會に慰靈祭を執行する管である

### 支那事變貯債

#### 平市に三千枚

支那事變貯債券一千枚(十圓券割引十圓)を割當てられた平郵便局の好消化は既報したが、平市内各銀行に於ける同債券の賣れ行きも頗る好調で、農銀支店の十圓券一千五百枚、五圓券五百枚は昨十五日までに十四百枚、五圓券四十枚を消化し、常盤銀行並びに七十七兩支店に前記農銀の分を合せて約三千枚と云はれるものは、来る三十一日までの期間内に全部賣切れ或は追加を要し、その状況だと語られてゐる

### 曾ての嫌はれ者

#### 今は銃後の範

石城郡山田村の井上農油産初太郎(三)氏は毎日酒にひたり、妻子八人を顧みなく、家計をよくし、身をもち崩し、且つ酒癖が悪いので、部落内の嫌はれ者



舟旅館 尼子亭 別府(三)氏

出る(35) 大森 勇  
船が危険地帯に入るのに未だ一時間も間があるので、サルンで一人唐詩選を讀んで、頭の上をシューシューと音がして通つて行くものがある。私はそれ迄小銃や機關銃で打たれた経験はあつたが、砲撃されたことはなかつたので、誰か弓でも射つてゐるのかと思つた。すると事務長さんが周章しくドローを排して出て来て、砲撃が始つたのだと云ふ。さ

海邊道を焼切及び箱師専門の賊であるを自供したが犯人は十七才の時茨城縣磯原町の炭鑛で同僚を殺害六ヶ年の刑を受けて出所後石城郡好間村田炭鑛に働き小野よし(三)を内妻にしたが、對遇がよくないと思つたので、無期懲役となつたのを恩赦で出獄し數年前から所記の盗みをしてゐると語つてゐるが引續き取調べ中である

尉 楠正光少尉 草野繁 箱崎三郎 矢吹長貴 坂本誠 加藤政英 笹川子之太郎 渡邊藏光 宮田行雄 草野史 遠藤勇之助 杉浦敏三 東海林勇 大友通雄

支那事變貯債券一千枚(十圓券割引十圓)を割當てられた平郵便局の好消化は既報したが、平市内各銀行に於ける同債券の賣れ行きも頗る好調で、農銀支店の十圓券一千五百枚、五圓券五百枚は昨十五日までに十四百枚、五圓券四十枚を消化し、常盤銀行並びに七十七兩支店に前記農銀の分を合せて約三千枚と云はれるものは、来る三十一日までの期間内に全部賣切れ或は追加を要し、その状況だと語られてゐる

曾ての嫌はれ者 今は銃後の範  
石城郡山田村の井上農油産初太郎(三)氏は毎日酒にひたり、妻子八人を顧みなく、家計をよくし、身をもち崩し、且つ酒癖が悪いので、部落内の嫌はれ者

船が危険地帯に入るのに未だ一時間も間があるので、サルンで一人唐詩選を讀んで、頭の上をシューシューと音がして通つて行くものがある。私はそれ迄小銃や機關銃で打たれた経験はあつたが、砲撃されたことはなかつたので、誰か弓でも射つてゐるのかと思つた。すると事務長さんが周章しくドローを排して出て来て、砲撃が始つたのだと云ふ。さ

あ大變だと唐詩選と萬年筆を投げつけてサルンデッキの右舷側に避難した。戦友は既に七、八人避難して、一分置きに砲撃が頭の上を飛んで来て、前方の川面に炸裂する。サツト水煙が上がる。破片がバラバラと船に當る。四、五十米位の處に落下するものもある。十米位の近くで目筋に落ちてくるものもある。炸裂する度に戦友は互に顔を見合せて苦笑する文付た。正直のところ心に冗談など云ふ餘裕がなかつた。砲撃が水面で破裂するところの丸では命は取られないのだとわかる。次の丸は何處

船が危険地帯に入るのに未だ一時間も間があるので、サルンで一人唐詩選を讀んで、頭の上をシューシューと音がして通つて行くものがある。私はそれ迄小銃や機關銃で打たれた経験はあつたが、砲撃されたことはなかつたので、誰か弓でも射つてゐるのかと思つた。すると事務長さんが周章しくドローを排して出て来て、砲撃が始つたのだと云ふ。さ

あ大變だと唐詩選と萬年筆を投げつけてサルンデッキの右舷側に避難した。戦友は既に七、八人避難して、一分置きに砲撃が頭の上を飛んで来て、前方の川面に炸裂する。サツト水煙が上がる。破片がバラバラと船に當る。四、五十米位の處に落下するものもある。十米位の近くで目筋に落ちてくるものもある。炸裂する度に戦友は互に顔を見合せて苦笑する文付た。正直のところ心に冗談など云ふ餘裕がなかつた。砲撃が水面で破裂するところの丸では命は取られないのだとわかる。次の丸は何處

船が危険地帯に入るのに未だ一時間も間があるので、サルンで一人唐詩選を讀んで、頭の上をシューシューと音がして通つて行くものがある。私はそれ迄小銃や機關銃で打たれた経験はあつたが、砲撃されたことはなかつたので、誰か弓でも射つてゐるのかと思つた。すると事務長さんが周章しくドローを排して出て来て、砲撃が始つたのだと云ふ。さ

あ大變だと唐詩選と萬年筆を投げつけてサルンデッキの右舷側に避難した。戦友は既に七、八人避難して、一分置きに砲撃が頭の上を飛んで来て、前方の川面に炸裂する。サツト水煙が上がる。破片がバラバラと船に當る。四、五十米位の處に落下するものもある。十米位の近くで目筋に落ちてくるものもある。炸裂する度に戦友は互に顔を見合せて苦笑する文付た。正直のところ心に冗談など云ふ餘裕がなかつた。砲撃が水面で破裂するところの丸では命は取られないのだとわかる。次の丸は何處

### 川部村の村葬

石城郡川部村出身、八幡登少尉が宮崎部隊に屬し九月九日滿洲國境で名譽の戦死せる同村葬は明十七日午後一時小學校で執行する

